

# 第3学年 社会科（公民的分野）学習指導案

日時 令和3年11月5日（金）5校時

学級 3年A組 31名

授業者 教諭 上田 虹輝

1 単元名 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 「私たちの消費生活」(東京書籍)

## 2 単元の目標

- (1) 様々な事例や資料などを活用しながら学習を行い、身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。 (知識及び技能)
- (2) 対立と合意、効率と公正、希少性などに着目し、消費生活や流通に関する様々な事例を基に、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現させる。 (思考力・判断力・表現力等)
- (3) 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会と関わろうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

## 3 単元について

### (1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領公民分野、内容(2)B「私たちと経済」の「(1)市場の働きと経済」を指導内容として構成したものである。学習指導要領では、経済活動の意義について消費生活を中心に理解し、また、価格の決まり方や資源の配分についての理解を基に市場経済の基本的な考え方を理解することをねらいとしている。

経済活動とは、一般的に人々が求める財やサービスを生産し、それらを消費することで生活を成り立たせている人間の活動である。また、経済活動の意義は、人間の生活の維持や向上にあり、経済は人間の豊かな生活を成り立たせていくための手段として重要なものである。

本単元では、経済活動の意義について消費生活を中心に理解させる。その際は、生徒にとって身近な問題について取り上げることで関心を高め、小グループでの活動や話し合いを通して理解を深めさせたい。

### (2) 生徒観

本学級は、日々の授業に前向きに取り組む、社会科に関心をもつ生徒が多い。中学生段階で経済活動に関わる方法としては、貨幣を支払い、財やサービスを購入することが一般的である。よって、生徒にとっても経済活動は日々の生活と密着した身近な関わりである。一方で、当たり前に行われている経済活動であるため、その意義や仕組みを深く理解し、考察することは少ないと考える。そこで、経済の学習では、身近な例を取り入れながら、興味関心を高めて学習に取り組ませることで、経済をより自分事として捉えられようとする。一方で、発言が固定化されていることや、考えを伝えたり表現したりすることを苦手とする生徒も多いため、ペアワークや小グループでの活動を取り入れ、意見を交流し合いながら深い学びになるよう手立てを組みたい。

### (3) 指導観

本単元で学習する経済活動について、その意義や仕組み、役割などは生徒にとって理解しにくい部分であると考えられる。しかし、中学生であっても経済活動は日々の生活の中で切り離すことができない活動の1

つである。

そのため、学習するこれらの内容について、多面的・多角的に考察できる学習を設計し、新たな知識や概念を獲得したり、経済活動の意義や仕組み、役割などについて考えたりすることができるようにする。

#### (4) 研究主題との関わり

本校の研究主題は「対話的な学びを通じた確かな力の育成～コミュニケーション能力向上の取組を基盤として～」である。本学級の生徒は、生徒同士の日常生活におけるコミュニケーションが活発である。しかし、意見交流はできるようになっているものの、学習を通して自分が考えたこと、判断したことを他者に自信をもって発信していくことは、これからも高めていく必要がある。そのため、本授業では対話的な話し合いを通じて、更なるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、消費生活を中心とした経済活動の意義を追究しながら、他者と積極的な意見交流ができるようにしていきたい。

#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近な事例や資料を活用する学習を通して、消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。	・消費生活や流通に関する様々な事例を基に、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて思考したり、判断したことを説明したりしている。	・市場の働きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会と関わろうとしている。

#### 5 指導と評価の計画（全5時間）

時数	学習内容	評価規準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストアの経営者になってみよう</li> <li>・単元を貫く課題の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストアの立地について、経営者や消費者、労働者の立場から考え、その過程や結果を適切に表現している。(思判表)</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           単元を貫く課題：消費生活を送る際に、気を付けるべきことは何だろう？         </div>		
2 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの消費生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家計を維持するための消費生活について、収支表を基に自分のより良い生活について考え、計画性をもった消費生活を考えている。(思判表)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約と消費生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約を結ぶ際に注意すべき点を理解し、自由と義務に着目して考察し、表現している。(思判表)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の権利を守るために</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の権利を守るための法律や制度を理解し、その内容をまとめることができる。(知技)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活を支える流通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不便なく消費生活を送るために流通があることを理解している。(知技)</li> </ul>
単元の まとめ ※5時間目	<p>【単元を貫く課題に対するまとめ】(評価方法：ノート記述)</p> <p>消費生活を送る際は、まずは自分の収入に応じて、必要な商品(もの)を適切に選択しなければならない。また、商品を購入する際に結ばれる契約は、違法なものもあり、適切に判断していく必要がある。一方で、消費者を守る権利も多くあり、法律や制度を理解した上で消費生活を送ることが大切である。</p>	

6 本時の指導（2／6時間）

(1) 本時の目標

将来、より良い消費生活を送るためにどのような考えが大切なのか、自分の考えをもち、表現することができる。  
【思考・判断・表現】

(2) 本時の評価規準

B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への支援の手立て
家計を維持するための収支表を検討しているとともに、経済の循環も理解し、収支をバランスよく行うことが大切だと理解している。	何を優先にして収支表を検討すれば自分の求める生活が送れるのか、また、お金を使わないことでどのような影響があるのかを考えさせる。

(3) 本時の展開

	学習活動	指導と評価の留意点（●…評価）
導入 1 0 分	<p>1 1週間の収支表を提示し、財とサービスを分類する（財とサービスの復習も兼ねる）。</p> <p>2 1で示した収支表を基に、お金を使い過ぎていないかどうかなどを判断する。</p> <p>3 成人（30歳）の平均的な月収を示し、収入には限りがあることを示す。</p>	<p>生徒の反応・スーパーでの買い物は、財である。 ・散髪は、サービスを購入したものである。</p> <p>・同時に、消費と生産が循環することで経済が活発になることを図で示し、お金を使わないことは、経済を停滞させることを確認する（図：消費と生産）。</p> <p>・お金（収入）には限りがあることを示し、学習課題へと導く。</p>
<p>学習課題：お金の使い方を考える時に大切なことは何だろう</p>		
展開 3 5 分	<p>4 将来、お金の使い方と気をつけるべきことには何があるのかを考える。</p> <p>5 お金の使い方を考え、自らの将来の家計について考える（個人→グループ）。</p> <p>条件・30歳時の平均月収を基に検討する。</p> <p>・検討する支出項目は、「住居費」、「食費」、「通信費」、「娯楽費」、「貯蓄」とし、その他の部分は、全員が共通の支出とする。</p> <p>・貯蓄以外の4項目は、3つの中からの選択制とし、選んだ理由も発表できるようにする。</p>	<p>予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使い過ぎない</li> <li>・必要なもののみ購入する</li> </ul> <p>・個人で収支表を記入する。</p> <p>・検討する支出の項目は以下にする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <p>住居費、食費、通信費、娯楽費、貯蓄</p> </div> <p>・収支表を検討した後、グループ内で、収支表のベストプランを1つに絞る。その際、それぞれが検討した収支の理由を説明したり、ベストプランを検討するために意見を出し合ったりするなど、意見交換を活発に行うこととする。</p> <p>・グループで1つに絞った収支表を黒板に貼り、グループで検討したものが、収支が少ないものなのか、多いものなのかを全員で確認する。</p> <p>予想される収支表…多くのグループが支出を抑えた収支表を検討すると考えられる</p>

	<p>6 世代や暮らしている条件を越えて、お金を使う上で大切なことは何かを考える（個人）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料「世代別の消費支出」を示し、世代ごとで何に多く支出しているのか理解する。</li> <li>・導入時に用いた、消費と生産の循環の図を使い、お金を使わなければ経済が回らないことを再確認させる。</li> <li>●限られた収入からより良い消費生活を考え、計画性をもちお金を使うことと、経済循環のためにはお金を消費していくことも大切であると理解し、表現できる。（思判表）</li> </ul>
<p>終末5分</p>	<p>7 振り返りを記入する。（5分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り用紙に記入させる。</li> </ul> <div data-bbox="336 510 1422 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>将来、お金を使う際は、限られた収入の中から、自分が必要なものを選択し、お金を使い過ぎないようにするなどして、計画性をもって買い物をしたいと考えた。一方で、経済を循環させるためには、お金を使っていくことが大切だと感じた。</p> </div>

(4) 板書計画

<p>11月5日（金）P130～P131 私たちの消費生活</p> <p><b>課題</b> お金の使い方を考える時に大切なことは何だろう</p> <p>予想・使い過ぎない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なもののみ購入する</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>【検討した収支は「少ない」・「多い」】</p> <p>少—————多</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>経済循環の図</p> </div> </div> <p><b>【お金の使い方を考えるときに大切なことは何か】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた収入の中から、必要なものを選択して購入することが大切である。一方で、お金を使用しないと経済が回らないことも考えなければいけない。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【各グループのベストプラン】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center; vertical-align: top;">第1G</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: bottom;">第9G</td> </tr> </table>	第1G								第9G
第1G										
		第9G								